



校長通信

令和5年度11号 令和5年7月11日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

《連日熱戦が繰り広げられています！》

中学校体育連盟夏季総合体育大会が始まりました。私は、7月8日（土）軟式野球、サッカー、柔道団体戦、7月9日（日）女子バスケットボール、女子ソフトテニス個人戦、剣道団体戦の試合を応援に行きました。暑い中でしたが、選手は全力プレーで、素晴らしいパフォーマンスを見せてくれました。剣道の団体戦は私が会場に到着した時は、すでに終わっていました。試合は見ることはできませんでしたが、自分の力をしっかり出し切ったと報告を受けて、たいへんうれしく思いました。初心者で4月から稽古を始めて、わずか3カ月で、すごいと思いました。

勝ち残っている選手、また来週から大会が始まる選手、すでに県大会出場権を獲得している選手のみなさんは、次に向けて頑張ってもらいたいと思います。次の週末もなるべく多くの競技の応援に行きたいと思います。

《河北地区子どもを育てる協議会総会が開催されました！》

7月3日、本校多目的室で、河北地区子どもを育てる協議会総会が開催されました。この協議会は、河北地区内に在住する保育園・幼稚園・小中学校の幼児・児童生徒の健全育成と福祉の向上、そして保護者の啓発を目的として、昭和60年7月に発足し、現在まで継続して活動されています。

会長に湊地区連合自治会長さん、副会長に、野崎地区連合自治会長さん、本校育友会長、河北中学校校長、事務局長に本校生徒指導主任が任命されています。また、校区内4小学校の校長先生、育友会長さん、地域の各種団体の代表者の方々が会員となり、協力しながら子供たちの健全育成に尽力いただいています。

総会では、昨年度の活動報告、会計決算、本年度の活動計画、予算案について協議されました。最後に情報交換として、4小学校及び河北中学校の子供たちの様子を報告しました。会員の方から、「河北中学校の生徒さんは、挨拶もしてくれてかわいいよ」とおっしゃっていただきました。地域の方々から、河北地区の子供たちを好意的な目で見守ってくれていると感じ、たいへんうれしく思いました。

《7月10日は、納豆の日》

7月10日は、語呂合わせでなっとうと読めるので、納豆の日と制定されているそうです。学研の情報サイトによると、納豆は、納豆菌と食物繊維によって、腸内環境を整える効果があるそうです。更に納豆に含まれる大豆たんぱく、鉄、亜鉛は免疫力をアップさせる働きがあるとのこと。それに加え、血栓の予防効果、骨折の予防効果もあると記載されていました。

本当に身体によいとされている納豆ですが、和歌山県の納豆消費量は少ないようです。以前、校長通信で紹介しましたが、私は毎日の朝食に納豆を食べています。そのおかげか知りませんが、体調はすこぶる好調です。納豆の日を記念に、みなさんも納豆を食べませんか。

